

1ホルムアルデヒド濃度0.08ppm以下、保証。
最大1億円、GRAFTON®は結果責任を持ちます。

- 「グラフトン保証施工」は他の「対策」と称するものと根本的に異なります。
- 最先端技術を背景に、施工後室内空気ホルムアルデヒド濃度を0.08ppm以下にすることを保証します。
 - 万が一、この数値が5年間以内に0.08ppmを上回り、施主様やテナント、居住者の方々にシックハウス症候群発症があれば、1事故あたり最大1億円の賠償責任を持ちます。

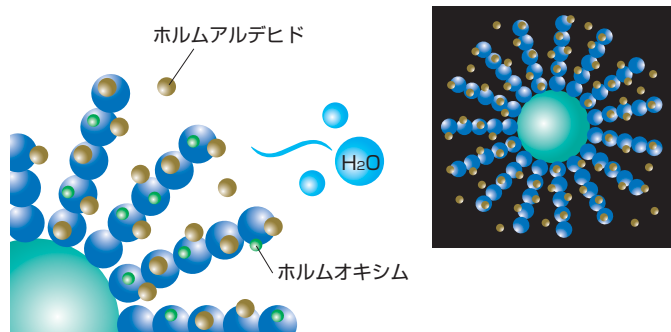
発がん物質ホルムアルデヒド (WHO＝世界保健機構が公式に警告) やVOCが漂う室内空気は、眼に見えない汚染空間。
だからこそ「安心・安全」は確固とした形にしたい・・・
これが**グラフトンの理念**です。
GRAFTON®の保証書は信頼の証です。



2最先端技術、グラフト重合法。
EU、アメリカ合衆国、日本で特許^{*1}が確立し、
さらにその先を行く特許技術も申請中です。

ミリ、ミクロンよりずっと微小なナノの世界。
安全な材料に高エネルギーが放射され、
その分子構造は、あたかも海中のウニのような形状になります。
そのナノ世界の「ウニの棘」の一つひとつが
ホルムアルデヒドの分子を完全に吸着分解し、
無害な物質であるホルムオキシムとH₂Oに分解し、再放出を許しません。
これが**グラフトン保証施工を支える技術**です。

■ グラフトンの科学反応モデル

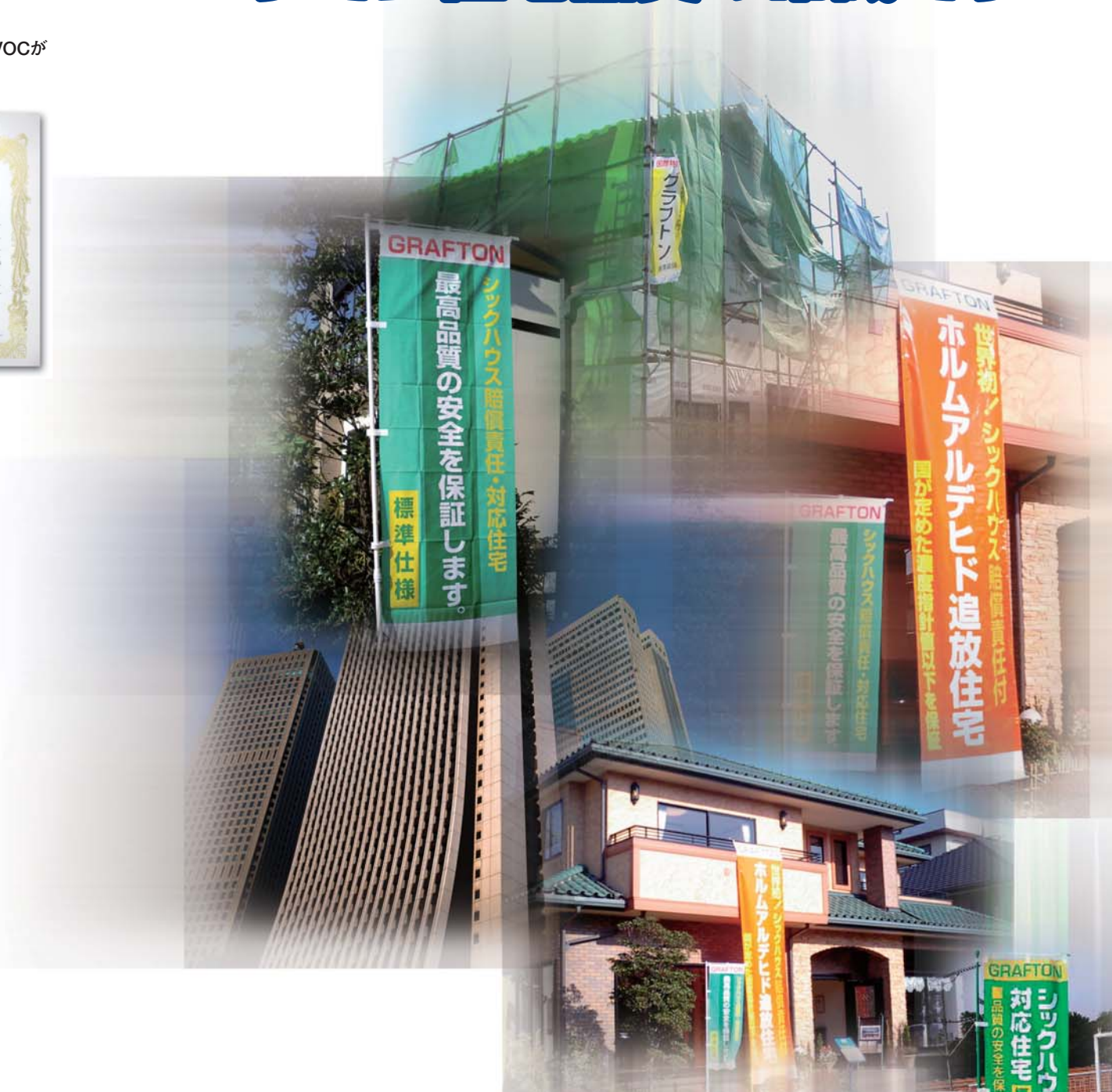


周知のようにホルムアルデヒド放散は3年以上続き、
5年目がピークと言われています。
引渡し時にホルムアルデヒド放散しないとされる建築物が
2年、3年後の夏季・高温多湿時に「シックハウス・シックスクール」を
引き起こす最大の理由が、この経年的ホルムアルデヒド放散です。
グラフトン・シックハウス対策は「5年間の保証・賠償責任」を宣言。
経年的に放散するホルムアルデヒドを吸着分解するグラフトン材を
塗布・設置し、独自ノウハウにより施工します。

*1 特許番号 EU : Pat.0616845 USA : Pat.5,506,188 日本 : Pat.2643823

戸建住宅・集合住宅・商業ビル・増改築…すべてのビルダー、デベロッパーの皆様へ

グラフトン保証施工・賠償責任制度は すでに住宅品質の常識です



3グラフトン施工は「信頼と責任」が
建材に浸透していきます。

施工作業は高度に熟練した専門職の必要はありません。
マニュアルに基づき、「保証・賠償責任」に値するだけの
施工詳細を十分に把握した現場リーダーの下、施工を実施していただきます。
また施工ノウハウは建築物や使用建材、部材によって違いもあります。
実際の施工はGRAFTON直轄チームの他、
ご契約とそれ以降の研修を踏まえた施工主様等も実施できます。
(詳細はグラフトン(株)にお尋ねください)



4「空気質を管理できない部屋なんて、信じられない!!」
・・・ごく近い将来の常識になります。

空気。もちろん眼に見えず、普段は存在を意識されることもありませんが、
人間、あるいは他の動物、植物にとって不可欠なもの。生命の根源でもあります。
シックハウス症候群、ある種のガン、化学物質過敏症などの
疾患はこの空気が原因。考えてみれば怖ろしい現実です。
どうしてこんな事態になったのか。
それは建築物を構成するすべての要素に、
石油化学製品が満ち溢れてきたからでしょう。
シックハウスは「20世紀文明の負の遺産」です。
GRAFTON®は「21世紀の先端技術とスキーム」をもってこれに対し、
最大の難関であったホルムアルデヒドの完全制圧に成功しました。大きな前進です。
汚染された空気、発がん物質が漂う住宅など誰が選ぶでしょうか。
ごく近い将来、安全な室内空気質は日本の、いや世界の常識になります。



■ 各種シックハウス対策方法の問題点

対策技術	製品一部例	デメリット
マスク	各種芳香剤	香りでごまかす為、シックハウス・有害化学物質対策には無力
物理吸着	活性炭・炭ゼオライト・珪藻土	一時吸着はするが再放散が多い 吸着物質を選びにくい
グラフトンを除く化学吸着	ホルマリンキャッチャー剤	性能劣化しやすい(持続性がない) 揮発によるロスが多い
その他	光触媒 マイナスイオン その他、自称特殊な水 オゾン	有害物質を生成すると指摘を受けている ^{**2} 効果に関する公的データに乏しい 効果に関する公的データに乏しい 有害性に問題がある

**2 光触媒を利用した化学物質の低減に関する研究 三好康彦、星純也「東京都環境科学研究所年報2000」